

令和3年度

まちの予算

ポストコロナに向けた新たな日常対応(ニューノーマル)予算 予算総額 **709億9,499万4千円** (特別会計、企業会計を含む。対前年度比2.9%減)

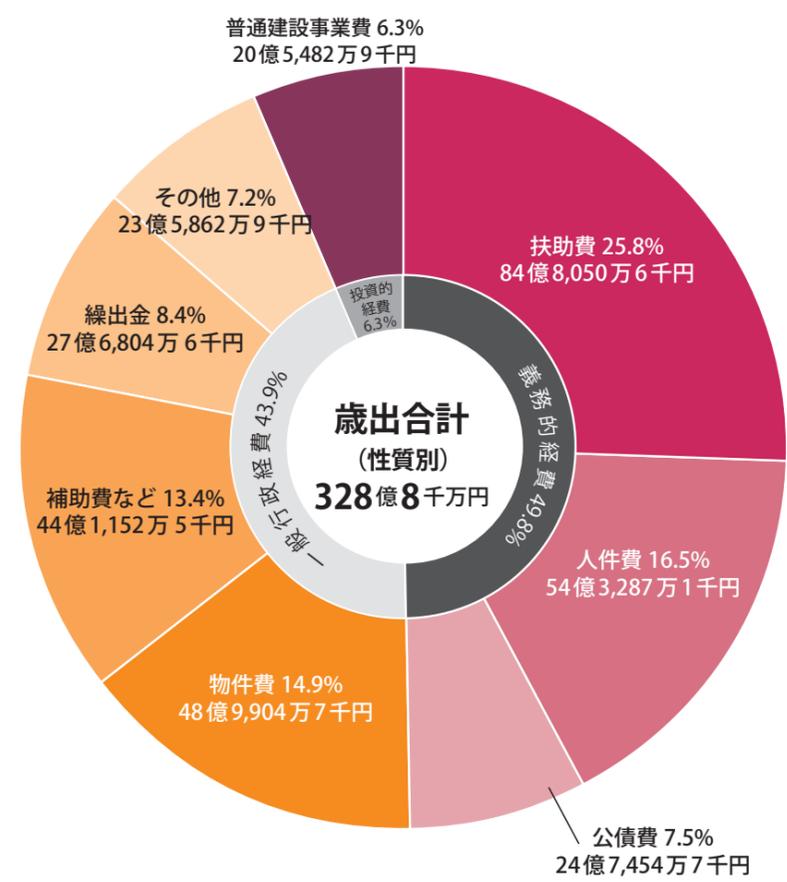
新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を最優先とする
とともに、市民の皆さんが本市に希望を抱き活力を注いで
いただけるような、「ハートフルで市民が主役」に、「暮らすなら
やはり近江八幡」のための『ポストコロナに向けた新たな
日常対応(ニューノーマル)予算』とし、持続可能な行財政
運営を視野に入れ、コロナ禍においても市民サービスを低
下させることなく、ふるさと応援基金をはじめ歳入確保して
きた基金を効果的に活用し、必要な財政投資を実行する予算
としました。

詳しくは市ホームページで

今年度の各会計別の予算書や予算の概要は、市ホームページでご覧いただけます。また、市情報公開コーナー(本庁舎1階、総合支所1階)でもご覧いただけます。

問 財政課 TEL (36)5750・FAX (32)3237・HP 17908

一般会計予算は対前年度比3.2%(10億8千万円)減の328億8千万円

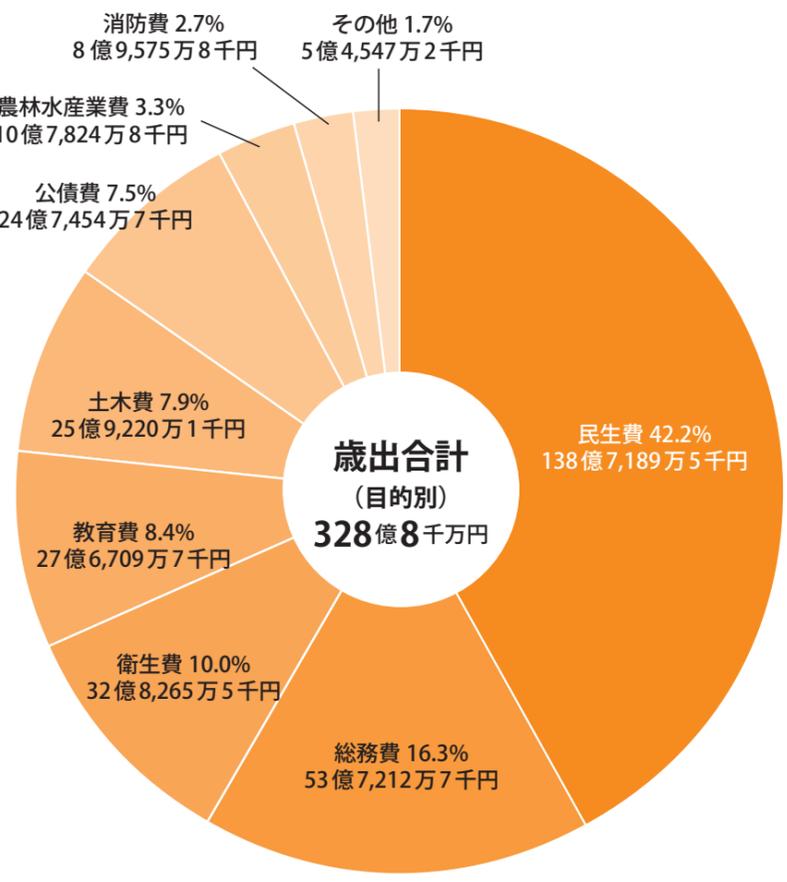


歳出予算

義務的経費は、障害福祉サービス等給付費の増加があるものの、幼児教育保育や児童手当給付費の減少などにより、約5千万円減の約163億9千万円を計上しました。

一般行政経費は、旧桐原幼稚園・旧桐原コミュニティセンターなどの解体費用や、電算システム・財務会計システムの更新、新型コロナウイルスワクチン接種の経費などの増加や、「近江牛」支援事業補助金などにより増加し、約7億円増の約144億4千万円を計上しました。

投資的経費は、総合支所の耐震改修整備事業と第79回国民スポーツ大会施設整備事業、地域活性化住宅リフォーム事業などを新たに計上しましたが、竹町都市公園の整備を令和2年度に前倒したことや、子ども・子育て施設整備の完了、小中学校GIGAスクール構想推進事業の完了などに伴い、約17億2千万円減の約20億5千万円としました。



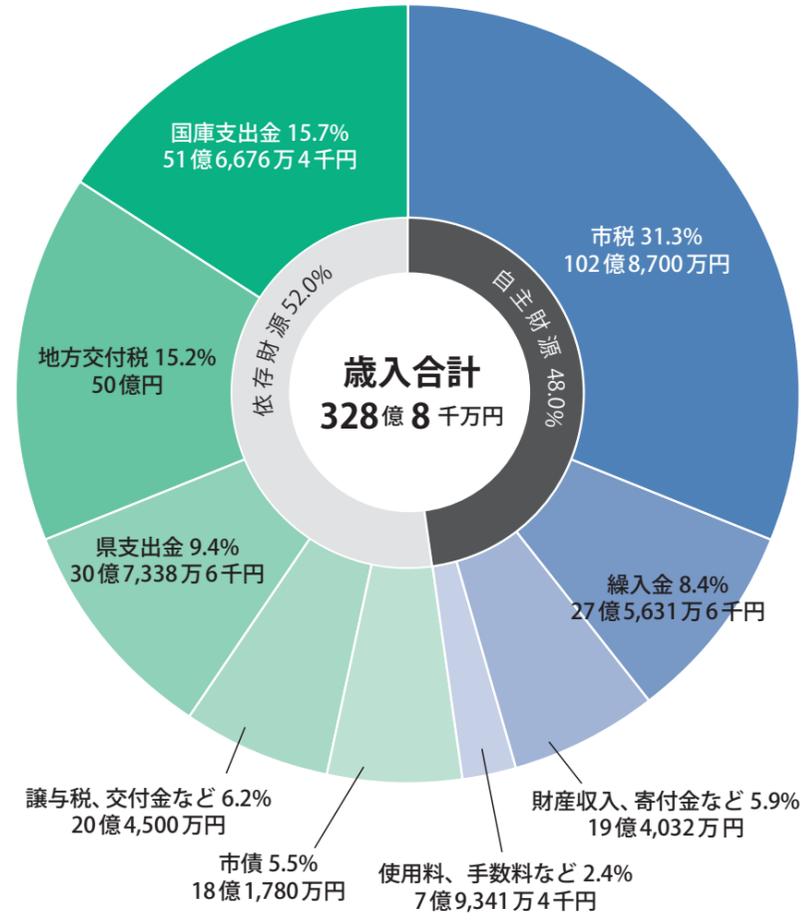
主な用語の説明

- 義務的経費…支出することが制度的に義務づけられている人件費、扶助費、公債費の3つの経費
- 一般行政経費…すべての行政事務に要する経費から、人件費、扶助費、公債費、投資的経費を除いた経費
- 投資的経費…道路、学校、公営住宅の建設などの社会資本整備などで、支出の効果が長期にわたる経費
- 扶助費…福祉医療や生活保護費、保育所や障がい福祉などに必要な経費
- 人件費…市長などの特別職、職員、会計年度任用職員の給料や議員、各委員の報酬などの経費
- 公債費…市の借入金返済の経費
- 物件費…光熱水費、消耗品費などの消費的経費
- 補助費など…各団体への補助金などの経費
- 繰出金…国民健康保険など特別会計に要する経費
- 普通建設事業費…道路や学校などの建設事業に要する経費

歳入予算

市税は、主にコロナ禍での雇用の悪化や収入の減少による個人・法人市民税の減収と、評価替えによる家屋の減価や、コロナ対策税制改正で、事業用資産の軽減措置による固定資産税・都市計画税の減収を見込み、全体で102億8,700万円としました。

また、財政の健全化と世代間負担の公平性の観点から、将来世代も含めて負担する市債(借金)と現世代が蓄えた基金(貯金)のバランスを考慮し、市債は約18億2千万円を、基金繰入額(貯金の取り崩し)は、コロナ禍でも市民サービスの低下を招かないよう、ふるさと応援基金をはじめとした基金を効果的に活用し、約27億6千万円をそれぞれ計上しました。



産業・観光振興

がんばれ・つなごう・食べよう
「近江牛」支援事業

1億2,288万円(農業振興課)



近江牛の出荷・導入・消費に対してそれぞれ支援を行い、生産農家の経営安定と「近江牛」ブランドの維持向上につなげます。

地域経済活性化
住宅リフォーム推進事業

3,000万円(商工労政課)



住宅リフォーム工事に対して補助を行うことで、雇用の創出や地域の活性化を図り、地域経済の発展につなげます。

都市基盤整備

沖島尾山(ケンケン山)遊歩道の整備

2,000万円(企画課)



平成30年の台風に伴う倒木・落石により、通行や維持管理に支障をきたしている尾山の遊歩道を補修し、小学生への森林学習の場の提供や自然環境の保全などを図ります。

道路灯等LED化事業

2,338万6千円(管理調整課)



道路灯の点検・LED化と、近江八幡駅自由通路照明のLED化を実施し、電気代の削減や維持コストの削減、環境負荷の軽減を図ります。

協働・行政経営

新市庁舎整備事業

2,823万7千円(市庁舎整備推進室)



市庁舎整備基本計画の方針に基づいた基本設計を昨年度に引き続き、令和3年7月まで行います。その後は実施設計、建設工事を進めていきます。

行政のデジタル化を推進

786万円(行政経営改革室)



「いつでも、どこからでもアクセスしやすい近江八幡市役所」を目指し、オンライン申請システムや手続きガイドなどを県内市町と共同で導入します。

安土町総合支所庁舎整備事業

1億7,432万5千円(安土未来づくり課)



耐震基準を満たしていない安土町総合支所庁舎の耐震補強工事を行い、行政機能の維持と防災拠点としての機能を確保します。

クレジットカード決済導入事業

122万1千円(収納・債権対策課)

市税などの徴収にクレジットカード決済を導入し、納税者の利便性の向上を図ります。

市のイチオシ事業をご紹介します！

令和3年度

主な事業

「近江八幡市第1次総合計画」に掲げられた6つの基本目標に沿った重要テーマごとに、主な事業をご紹介します。

※担当課名は令和3年3月時点の名称を掲載しています。

アイコンの説明



新型コロナウイルス感染症に関する支援事業



「ふるさと応援基金活用事業」

全国の皆さんからいただいたふるさと納税を活用した事業

教育・人づくり

保育業務支援システム整備事業

1,570万8千円(幼児課)



システムを導入することで、保育園・幼稚園などの事務作業の効率化を図り、保育人材の確保に努めます。また、効率化によって短縮された時間を保護者支援や子どもと向き合う時間などにあて、保育の質の向上を目指します。

第79回国民スポーツ大会施設整備事業

1億5,474万1千円(スポーツ推進課)

令和7年度に開催予定の第79回国民スポーツ大会に向けて、競技・練習会場施設としての基準を満たさない競技施設の改修を行います。

妊婦健康診査の費用を助成

100万8千円(健康推進課)

妊婦健診の14回分の助成とあわせて、特定不妊治療・不育症治療を行う妊婦や、多胎妊婦へ助成回数を拡充することで、経済的負担軽減を図るとともに、妊婦が安心して過ごせる環境づくりを図ります。

福祉・医療・人権

がん患者アピアランスサポート事業

4,396万1千円(健康推進課)

がん患者のウィッグや補正下着などの購入に対して補助を行うことで、がん治療による外見変化の悩みの軽減を図ります。

子ども医療費助成事業

1億7,270万円(保険年金課)

子ども医療費助成制度の所得制限を撤廃することで対象世帯を拡大し、すべての子どもたちが同じ条件のもとで医療を受けることができるようになり、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の充実に取り組みます。

環境・歴史・文化

ライティングプロジェクト推進事業

5,487万3千円(文化観光課)



本市を代表する観光エリア「八幡堀」を、日没後にライトアップ(演出照明)することで、新たな魅力を創出します。

文芸セミナリヨ等長寿命化整備事業

5,354万3千円(文化観光課)



文芸セミナリヨ

信長の館

老朽化が進んでいる文芸セミナリヨ、信長の館の屋根改修などの工事を行い、施設の長寿命化を図ります。